

平成25年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容をとりまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	もともと住宅被害がない。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	私の周囲において被災者の住環境については完全に回復したと思われる。雇用については今の所、国及び県の雇用対策事業等により被災者の雇用は回復しているが、対策事業がなくなった場合、事業所の種類によっては今後、電気料金の値上げや、消費税の増税等、経費の増大が懸念されることから、来年度以降における雇用に不安要素が既にあるのが現状である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	1. 住居に関しては災害公営住宅の一部が完成して入居が始まった。希望者の倍率は高く、潜在ニーズは高い。一方、戸建住宅を建築する方は富裕層が中心で、住宅ローンのニーズは目立っていない。 2. 事業所の再建は順調で、雇用面では明るさが見られる。しかし、被災者の財布の紐は固く、消費拡大の動きは感じられない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	雇用環境も良好で生活は安定してきている。建設業を中心に好決算の企業が続出し、期末手当の支給やボーナスの増額等により、生活に多少余裕が出てきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	土砂を積んだダンプが非常に多く走っており、地元住民との交通事故が心配である。一方で、力強い大型ダンプの行き交う姿を見ると、復興の槌音が聞こえるようで元気が湧いて来る。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸北部	男	公営住宅が着工し、また、移転用地の収用も進んできたことから、復興が進んでいると実感している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸南部	女	復興住宅が一部完成し、入居が始まった（市営分）。しかし抽選漏れした方たちのこれからの不安も増したのではないかと感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	住宅を建てる人が増えているし、災害復興住宅も徐々に建設されて仮設住宅から引越している。三鉄（南リアス線）の復旧やBRT運行で高齢者や学生の移動手段が確保されてきている。一方で自力で再建できる人とできない人、また助成金対象外の人など同じ被災者にも格差が出てきているように感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	仮設に入居したり家を再建する方が多く目立って来ている。仮設に入ったときは無職だった方がほとんどですが、今は高齢者のみでほとんど働きに出ているので。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	若干進んでいるように見えます。我が仮設でも最近4戸ほど高台移転をしました。全体的にはまだまだですが、私の周辺はやや進んでいるように感じています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅は狭く様々な不具合があるが、被災者への住環境を提供していただいていることに感謝している。不平不満を言えばきりがない。不自由な中で肩を寄せ合い、励ましあい明るく楽しく幸せを求めたい。出会い触れ合い支え合い、コミュニティ活動（自治会活動）の中で、住民お互いの明るい融和と親睦が図られている。自力で住宅を再建し3世帯ほどが転居した。別れは淋しいが、嬉しいことである。問題は、自分の被災土地に家が建てられない世帯が多数あること。速やかな公営住宅建設が求められている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅から出て行く家族が増えてきた。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害公営住宅も着工され、入居募集が始まり年内入居できる見通しが立ち、回復が実感できるようになった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅の生活にも慣れ、隣近所との付き合いや、集会所でのお茶っこ会で話に花を咲かせたり、スーパーや仮設店舗に連れ立って買物に出掛けるようになっていきます。又、若い方々は、仕事職場や子供たち、保育所、小中学校（新設一貫校）など話題を提供し合うようになってきています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	移転地の造成工事も9月中には終了したいと行政は言っている。工事の進行で心も少し落ち着いて来ている様に見える。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	近くに仮設住宅での生活をしている人が5・6人いるが、新築を建てるための土地を作っており、今年中には入居できる様だ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	自力で土地の購入をして、家・倉庫等を新築している人達も増え、集団高台移転工事も進んできた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	公営住宅は5月から一部入居が始まるが、宅地は進んでいない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	水産業もわかめ・ホタテ・雑海藻等作業しております。今までどおり前の生活に戻ってきました。自力での住宅建設が増えてきております。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台移転地の整備が急ピッチで進んでいることが目に見えて分かるようになってきた。また、新居を自力で建てる方も増えてきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	雇用のチラシが多く見られること。スーパーや町の様子から活気が感じられること。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	新しく住宅を建設していたり、復興住宅の建築も目に見えてきて、やっと始まったと感じられるようになりました。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	住宅事情は依然として厳しい状況にあると思われるが、復興計画が明確に示され希望が湧いてきたように思う。それに伴い、全体的にやや活気を感じる場面が増えてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仕事状況により差はあると思いますが、以前の様子とは違い生活に困るような感じは受けなくなりました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	店もできてだいぶ回復してきたと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	久慈市は他市町村より被害が少なかったため、復興は回復しているように見受けられます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	復興住宅への入居も始まり出したのでこのまま順調に仮設で住む人たちが減ってほしい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	自宅の再建がすすみ、建設中の家を多く見かけるようになった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	自分の力で家を建てる人が増えている。公営住宅も完成し入居した人もいる。高台移転の土地の造成が目に見えて進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	色々な建物が建ちはじめている。一度解体された所に家が立ちはじめている。宮古市内では新しいお店ができたり福祉施設が立っている。回復へ向かっていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	材料がない、人員が足りないなどの理由で、土地があっても自宅の建設ができなかった人たちが、最近では自宅を建てられて引越せています。 ここで書くべきかどうか分かりませんが……。それによって仮設住宅に空き部屋があるんですが、そこをもっと活用できないのでしょうか？ うちの施設は他市町村から採用されている職員があり、貸家は全部被災した方々が住んでいて、アパート的なものがなく、住む所を探せない状況です。仮設はたくさん空いているのに目的が違うから……。と貸してもらえなく本当に困りました。ただでさえ地元から介護職員を採用できない状況なのに、他地域から連れてこようにも住まいがなく、どうしたらいいのか本当に困っています。柔軟な対応をお願いします！
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	明るい話題が多くなった。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	被災者の生活は、ほぼ前の日常生活と変わりがないように見受けられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	災害公営住宅の完成により、一部ではあるが入居も始まり、落ち着きを取戻した方々も見受けられる。又、新築住宅を構えた方も数世帯ある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸北部	男	赴任して間もない事から、今回については上記回答とした。次回調査の際は相応のご回答をさせていただきます。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	生活は安定してきたように感じる。ここ3ヶ月は変化を感じないので何とも言えない。他地域では復興住宅も着工されているが、この辺ではまだ聞こえてこない。仮設住宅の方々のためにも早く進めて頂きたいと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	経済力のある人とならない人とは生活の回復度が違っている。経済力のある人は、元の場所に盛土して新築したり、新たに土地を求めてそこに新築し移り住むなどしている。一方で、高台への集団移転希望者の中には3～4年後に家を建てることのできるのだろうかと不安を持っている人がいる。資材の高騰や職人の賃金が上がって、予算的に建てられなくなるのではという不安である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	求人倍率など数字の上では回復したように見えるものの、個々の状況としては満足はいく回復をしているようには思えない。復興に関連する建設業などが一時的に反映されただけではないか。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設住宅内での格差が進んでいます。家を新築して出られる方、残される方、復興公営住宅の早期建設を望みます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	自立再建者が増えてきた。土地があれば家を建てたいと思う人が増えてきた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	私の住んでいた仮設の人達は復興アパートに申し込んでも当らずごく残念がってます。進んでる進んでないで言うに進んでない方かもしれないが一年でも二年でも待つので確実性が欲しい・・・と話してます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	大手のスーパーやホームセンターなどが町に進出してきて、仮設のスーパー衣料品店などもかなり充実してきており、被災者の生活は少しずつ回復してきている。ただ、まだ代替地や災害住宅の建築などがまだ始まっていないため、仮設住宅の住人の方たちは将来への見通しが未だ立たない感じがする。老人のいる家庭では、自力で土地を購入して家を建てようとしている人たちが増えている。しかし土地も少なく建材・コンクリートなども値上がりしており、工務店なども忙しくまならないようである。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私の仮設からも自立再建したり、修理が済んで転居したり、又、内陸へ引越して行く世帯もチラホラみえる。しかし、高台移転やかさ上げの計画は、説明会は開かれているが目に見える工事が始まっておらず、本当に復興計画通りに進められるのか心配です。又、近くに救急病院が無く、休日・夜間に具合が悪い時、釜石県立もしくは宮古県立病院まで50分～1時間かけて行かなければならず、幼い子供のいる我が家としては不安である。夏を迎えるにあたり町内にはプールが無く、このままだと幼い孫は泳ぐことを知らずに大きくなることになる。事業所・病院・店舗等内陸に再建したニュースが多くて、大槌は未来が見えない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	未だ仮設住宅にいる人々が多いが、中では、他地区及び他部落へ移住している人々も見られる。今年度高台移転する人が出てくることであるが、条件的にあわない場合もあり厳しいこともある様である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	震災から2年を経て被災者の方々は一応生活面では落ち着いているように見える。しかし、お年寄りや失業している方々はこれから先のことを考えると心細いと口にする方も少なくないようだ。また、市内遊技場は平日でも車が多く停まっている現状を考えると、その場その時を刹那的に送っている人も多いと感じる。

どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	1. 仮設住宅から別の所（一軒家・アパート）へ移る人が増えた。 2. 津波防災関係の建設が進んでいない気がする。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	土地の購入、住宅建築、公営住宅、アパートの建築が進んでいるように思われる。ただ公営住宅が建ってもすぐに埋まる訳でもない。家を建てるか公営住宅もしくはアパートに移るのか、仮設に住んでいる方々は不安なままだと思う。どちらにしても先立つものがなければ前に進めない。前に住んでいた地域の人たちと同じ場所に住みたい。家賃の支払い、建設費の不安、あせりもピークに達している。今後の生活、高台移転、公営住宅等、詳しい説明、具体的な動き、見通し等が欲しい。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	被災した学校の建設に関わって、代替地等の問題もあり、遅れているように感じる。また、住人の方にとっても、二度・三度の精神的苦渋のようである。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	日常生活については震災前と変わらぬ生活ができてるように見えます。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	前回と比べて変化は感じられない。ただ、住宅事情については進んでいるとは思わない。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	以前と同じ場所へ戻る世帯や別の場所へ（自身の土地か？）新築して移る世帯がちらほらと見受けられますが、大半はまだまだ仮設暮らしのままのように思われます。公営住宅も完成し落成式も行われましたが、その後1ヶ月以上経っても入居者は2世帯と聞いています。なぜでしょうか？ それから、高台移転の話もスムーズに進まない中でこのような話はどうかと思いましたが、とにかく墓所がないというのは困ったもので、震災後市営墓地の抽選が2回行われていますが、1つの区画に20人前後の申し込みがあるというのは異常ではないかと思えます。（我が家の場合はお寺にももう広げる土地がないとのことで、市営墓地が頼りです。）個人的なことですみません・・・が、このように思っているのは私だけではないのでは？
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	集団移転の話はあるが、実際実現するまでかなり時間がかかり、仮設住宅を離れるまでしばらく時間がかかっている。復興住宅もまだまだ始まったばかりだ。仮設住宅での生活は続きそうだ。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興支援住宅が建ち、回復しているように思えるが、仮設が無くなるまでは回復したとは言えないと思う。新しく出店した店などもあり、進んでいると思うが、立地等を考えるとこの先もあるのかと不安に思う。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	スーパー等の店舗ができ、雇用もでき、生活するにも便利になったから。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	以前よりも住宅を建てる人、土地の購入の人が増えているように感じる。高台移転の整地も順調に進んでいるように感じられる。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	他の市町村では公営住宅の完成のニュースもあるが、全く聞こえてこない。自分達の力で再建できる方達は進んでいるようだが・・・。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害復興住宅の抽選で、決定した方は良かったと思うが、抽選に外れた方は、仮設での生活が継続となる。一部は改善した方もいるが、変化のない方も多いため、どちらとも言えないと感じます。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	集団移転先の造成工事は、工事が完成した場所もあり、3ヶ月前よりは進んだと感じる。雇用に関しては、多くの職種で人員不足している。雇用場所があっても、応募者がいないのが現状です。大手の企業が復興に参入し、高い賃金で労働者を集めることで、賃金バブルが発生している。このままでは、地元企業など資金・資本など体力的に弱くなっている企業の倒産などが起きてくるのではと不安です。復興後、地元に残り家を建てたが、就労場所はなくなり、住宅ローンの返済が滞る等の問題が起きないことを願います。

どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	やっと災害公営住宅の建設予定年度が示されたが、「まだ先なの？」とため息が出てしまうような方が多い。「仮設を出る」ということに焦りを感じている方も変わらず多いし、仮設を出られる余力のある人、経済的に厳しく出られない人の格差はあいかわらず感じる。また、住宅を他の地に再建した方からは、「本当にここで良かったのだろうかと思ってしまう」という声も聞かれる。街の空き地・古い家のあった所にはぞくぞく新しい家が建設されているが、「焦って決めて建設している」という方も多くいらっしゃるようだ。新しい家やアパートは多くなったが、皆さんを取り巻く状況は3ヶ月前と変わっていない気がする。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	震災から2年と3ヶ月、生活は落ち着いているように感じる。食べるもの・住む所があるから。ただ、これから先のことを考えた時に不安だと考える人が多くいると思います。職業の安定化・産業の開発・町おこし・・・人口流出の歯止等やるが多すぎる。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	震災から2年以上経過したが、復興住宅等住宅の再建が進んでいない。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	全壊により住む家が無くなった人々はまだ仮設住宅などに住んでいる。被災前と同程度になるのはまだ先のことだと思う。家を修繕などした人々はやや回復したように見える。家を新築したくても建設費が高い（建材や人件費および土地などの高騰）ため進まないように見える。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	求職活動をしています、年齢の関係もあると思いますが、現在まで就職できません。住宅を再建し、仮設住宅を出ていっている方がいる中で、住宅再建などまだまだ見通しがつかず不安な状況です。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災者の生活といった観点となると自分自身のことしか分からないので回答のしようがない。住まいのことであれば本自治会の会員のうち、これまでに24.3%の被災世帯が仮設住宅から退去した。内訳は田老地区外に住宅を新築したり、購入して退去していった世帯が4戸（44%）また、借家に移られた世帯が2戸（22%）、田老地区内の被災家屋を補修して住み始めている世帯が2戸（22%）、社会福祉施設に入所した世帯が1戸（12%）である。 一方、職業の面から見ると退去された9世帯の内、世帯主が無職の世帯が3戸（33.3%）震災前からの職業に就いていた世帯が6戸（66.7%）で震災による失業は見受けられなかった。現在は24年度に新たに入居された被災世帯を含む29世帯が本地区自治会の会員になっているが、その内、店舗が再開できず休業中の世帯が3戸（10.3%）、漁船の完成が遅れ、引渡しを待つ世帯が1戸（3.4%）震災前の職に就いている。または転職している世帯は19戸（65.5%）、震災により職を失った世帯が1戸（3.4%）、震災前から無職の世帯が5戸（17.2%）であり、商売の休業・失業・船の調達の遅れを合わせた5世帯（17.2%）は生活が回復していないことになるのではないと思われる。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	食べることができるという点でいえば回復しているといえるけれど、住んでいた家が無くなって、仮設住宅に暮らしていることを考えれば回復していないということになる。以前と同じ家に住める望みはとうていかなえられそうにない。自分のことは分かるが、周囲のことを聞かれても、暮らしぶりも財布の中味も分からないので答えることができません。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	中心部から山里（町内）に土地を求め家を建てる方々が多くいます。二度と被災したくないとの思いです。店舗は中心部に、自宅は安全な場所と考えるのです。諦めと我慢の気持もあって、今は仮設にも慣れ、住民とも良きお付き合いができています。

あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害公営住宅の目処がたたないため、待きれなくなって一般公営住宅に入居した。家賃が高いが已むを得ずに。体調をくずす人が多くなってきた。異常気象のせいだけではない様だ。二年すぎたのにガレキはかたづいたがその後の工事が進まない。小・中学校、新県道、防災集団移転事業、災害公営住宅、計画が表れてこない。ストレスが溜まり過ぎる。何か住民が求めている物の一つでも槌音がひびけば安らぎになるのでは？ 生活道をチョコチョコ復旧するのも大事ですが、復興のための工事も進めてほしい。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	移転地の計画が具体化していない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	被災者は今後の生活に不安を持っているため、消費を切り詰めている。公営住宅等早急に住居を建築してもらえれば安心して生活できるのでは。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	ここ3ヶ月間はなにも変わってはいないように見える。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の造成が手が付けられてなく、被災地域に新築の家が立てられている。今後どのように都市計画が進んで行くのか不透明である。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	仮設住宅に住んでいる人がまだ多い。移転地は決まっている様だが、家を建てるのはまだ先です。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	まだ仮設住宅にいて生活の回復はないけど、それでも何人かは新しく家を建てて移り住んでいるので、いくらかは回復していると思うけど、今だに新しい生活の設計もできない人が多くいること。仕事はガレキ中心で農漁業についてはまだ半分の生産位しか回復していないと思うから。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	1. 公営住宅が全く手つかず。2. 農地はいくらか進んでいるが、区画整理事業先が見えてこない。3. 土地が高騰している感じがする。大規模な造成が必要と思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	震災直後住宅の再建を希望していた被災者の再建断念者の増加。移転の目処が見えないことによる他市町村への世帯流出の増加。ひきこもり高齢者の増加。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	飛び地、断片的にしか造成地ができていないため、図面で示された街の将来像が見えてこない。NTT、電力等民間の工事と、公共工事の順番等がバラバラに進められるため、せっかくな立派に造った舗装をまた切りきざんだりしている。分かっている（工事が前もって決まっている分）際には1回に埋設してから舗装して欲しい（バラバラに感じる。）。前回とあまり変わらない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	経済的に大変で土地の購入ができなかったり、家の建築までに至らなかったりする人も多い。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	高台移転・自力再建等復興への努力は並大抵ではない。法律や諸手続きなどがそういった努力をもっともっと後押ししてほしい。市町村だけでなく県の力も更に必要。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	生活は大きな変化がない分落ち着いている。食べることを初め、生活必需品は手に入るので、平穏な生活を送ることはできる。しかし、依然として仮設住宅住まいの人が多い。仮設住宅は山手にあるため、町方に人通りは見られない。また、文化面では何も復興していない感がある。図書館・文化ホール・美術館・公園・運動施設等心を豊かにする施設が欲しい。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	少しずつであるが、家を建てたり、他市町村のマンション等を購入する人が見られるようになってきている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	震災前のレベルまで望むべくはないが、昼には仮設の食堂のにぎわいや土日の街のイベントなどに参加する人々など、生活に余裕が出てきた人が増えていると感じます。一方、災害公営住宅が完成したが入居しない空き部屋があるというのは、家賃を払わなくてすむ仮設住宅に住めるうちは、そのままという雰囲気があるのだと思います。生活は苦しいままの人が多くいます。

あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	住環境の面では、宅地として新たに土地を切り開いて住宅を再建していく数が日増しに増えてきているが、それでもなお仮設で暮らす人たちの多くが先がまだ見えていないと思える。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	震災直後からみれば回復しつつあると思うが、最近3ヶ月での大きな変化はないと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	住環境の整備が進んでいないし、仮設期限に不安を感じている高齢者が希望を無くしている様子がうかがえる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	特に生活が回復したと実感する事は感じられない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	再建しようとしても制度が難しく、話を聞くにも担当が変わり、いつも始めからの話になる。あまり前に進まない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	住環境の整備はわずかながらも進んでいる感じがする。時間が経つにつれて被災した住民と被災しない住民との感じ方に乖離がみられる。被災直後は全ての住民が同じ目線に立って感じていたと思う。今は、被災者とそうでない住民との隔たりがあまりにも大きく感じられる。よく「悲しみは時間が解決してくれる」と言われるが、あの災害も時間とともに遠い過去のものになった感がある。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	特に変化は感じられない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	仮設で生活している方が多い。高台移転はどうなっているのか、どの程度進んでいるのかが見えて来ない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設暮らしの方がまだまだ多いため、本当の自立にはなっていない。
回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	町の復興計画の土台ができ上がったが、具体的な土地買収等があまり聞こえてこない。NPO法人等の問題もあり、町の行政に対する不信感等も聞こえてくる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	各地区の防災集団移転に参加したグループ（協議会）は高台移転先の決定の大臣認可が下り、これから移転先の工事が着工されるが、その後各自の家屋の建築完成年度が見えない。理由：地元建築業者が既存の契約が現時点で3年間一杯とのことで、見通しが立たない。それに伴い、応急仮設住宅の入居期間が延びるので不安である。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅の生活環境は変わりません。日常の生活に必要な買物場所が遠く大変です。早く高台に家を見て、普通の生活がしたい。それを願っています。
回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	とりあえず、生活に困っている話は聞かない。土木・建築関係の求人があることで、仕事は選ばなければ見つけられると思われる。しかし、本来（震災前）の仕事が復活しているわけではないので、ここ数年のことと思う。仮設に入っている人達を見る限りでは、今の仮設には慣れていないと感じる。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	被災地のかさ上げがなかなか進んでいない。被災しなかった家屋が道路拡張のため移転を余儀なくされている状況が見られ、不安をかかえている住民がいるらしいです。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	生活は住宅の再建もあまり進んでいない状態です。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	土木工事など特定の業種の求人は多いが、それ以外の雇用は回復しているとは思いません。

回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	みなし仮設に住んでいる方。90才胃ろう造設し寝たきりの父親（要介護5）と、79才週3回透析に通い、膝が悪いので自分で歩けない母親（要介護4）、の二人の介護をしながら仕事をしている40代の娘さん（子どもは娘さんだけ）。医療や介護サービスを利用するには、今のところが病院などにも近いので便利。公営住宅には所得制限もあり「明け渡し努力義務」が生じ家賃も割り増しになるという。今から家を建てるにも、元住んでいたところには戻りたくない。病弱な90才の父が、そして79才の母がいつまで元気であるのか分からない。迷いながら答えを出す期限も迫り、苦しんでいる。
回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	大船渡町は浸水区域にどんどん建物が増えて復興を感じられるが、はたしてこの場所で良いものかと思う。又、赤崎町には復興のでこ入れがなされていない様な気がする。浸水した学校の庭が運動場になったのは良いと思うが、高台移転の動きも高台道路の話も前に進んでいない。又、がれき処理の集積場も赤崎地区である。2年過ぎても粉塵被害に悩まされている現況である。
回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	周辺の山林は伐採され造成されつつあるが、土地の確保が困難に見える。土地・財力のある方は自宅を再建できているが、高齢者世帯の多い仮設においては、復興住宅にさえ移れるかどうかと心配の声の方が多い。体調を崩す方が多くなっていると感じる。自分自身仮設に身を寄せているが、家族と一緒にさえ一人の空間がなく、気は休まらない状況（仮設に住まわせてもらっていて、贅沢な・・・と思われるかもしれませんが・・・）。
-	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興住宅の建築や、自宅周辺の宅地造成など見られますが、仮設住宅を目にすると、まだまだ転居できずにいる人たちのことを考えてしまいます。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	基幹産業である建設業が好調さを持続しており、「あまちゃん」効果もあり、小売・宿泊等にも波及してきている。久慈市に関しては震災によるマイナスの面はほとんどない。回復が遅れているところ（業種）は震災の影響ではなく構造的な問題が原因。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	再建を希望している事業所の大半で事業が再開されているように思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	「あまちゃん」効果で活気づいている。地域産業が乗り遅れないよう、このチャンスを活かし経済回復のきっかけにして欲しい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	1. 飲食店に歩く人の数が増えていると思う。 2. 何となく・・・。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	アサリ漁も昨年より活気が見られ、春のカキ「花見カキ」も販売され、ずいぶん皆さん努力なさったと、浜には前向きな力を感じます。各地域の産直も元気に営業されており農業も元気を取り戻しつつあるようです。ただ、自分たちの農地が区画整理の地域になり「仕方ないが、昨年までやってた畑ができない」という方もいらっしゃるようです。 宮古から新しい商品を発信しよう！という動きや、「街コン」も開催され、賑わいも感じることができるようになった。ただ、仮設店舗の方は「先の不安」を感じている方も多いようだ。

やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	飲食店の増加や建設業者の動きが活発に見られること。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	親組合の漁協事務所が完成し、組合員の皆さんも明るく元気が出てきたようです。浜の様子も、まずまずそれぞれ復興に向かって頑張る姿が見えてきました。漁民は1日も早く防潮堤整備、又、漁港等、船の出港の安全を守るため早期実現をお願いします。経済は漁は震災前に似た感じが現れてきています（こうなご漁）。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	基幹産業の水産漁業関係は、一部施設ができていないものの、だいぶ整ってきたが、経営状況はまだまだ厳しい状況が続くと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	漁港の船の数が増えてきているように感じる。サケマスふ化場が完成しつつあります。修学旅行で学生が来村している（最近増えているような感じ。）。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	経済の活性化が進んだとは言えないが、被災前と同じ程度に近づいているのではないかと感じています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	建設業を中心に仕事が増えており、地域経済に良い影響を及ぼしていると思う。また、久慈市は「あまちゃん効果」で観光客が増えているように感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	原木しいたけはまだ風評被害により価格が安く生活が苦しい。又、漁業のタラ漁でも半分くらいの価格です。さらに燃料の高騰で大変である。まだ、セシウムの風評被害があり、農林漁業者は品物の安定した価格を望んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	食料品店・外食産業への来客数が増加している。宅地の売買取引の増加。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	震災以前の事業活動に近づきつつある店舗が増えてきた。ただし、地域経済は徐々に厳しくなりつつあり、先行に不安を感じているのが実感です。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	浸水した農地は、3分の1の面積であるが、より大きく区画整備され、非常に効率的になった。それに伴い、避難道路も広くなり安全になった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	水産加工・食品加工などの加工会社が工場を再建し、数十人程度を雇用し再稼働している。他にも多くの業種で事業が再開されている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	スーパーが新たに建設中。経済域が町の中心部から離れたため人口の多い地区に店舗がではじめている。一部には同様の店（ホームセンター）が小さい町に複数できたが、需要と合っていないように思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	進んだことを感じています。今は様々な業種の人がいる事も要因の一つだと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	津波を受けた宿泊施設が再開している。利用して少しでも活性化に協力したいと思っている。その反面、沿岸南部での大学施設の閉鎖の影響を受ける商店のことをニュース（TV）で知り、集客問題が経済回復を妨げていると思った。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	店舗や工場など、新たにできたり、再開したりしているのを見聞きすると回復しているように感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	特に、水産業においては、生産体制の基盤整備が着々と進んでおり回復に向かっている。その事から地域経済も回復に向かっているが、問1の回答にもあるように回復傾向にある中、電気料金等の光熱費の値上げは事業所においても、各家庭においても大きな影響を及ぼすと考えられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	人手不足が深刻な状況になっている。土地が高い値段で取引され、住む場所が無く、人口が流出している。例えば、全壊の被災者に土地を売ったときは無税にするなどの措置を行わないと土地を売る人も少なく、価格が上昇することを止められないと思う。

やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	復興に向け、計画から実施が目に見えるようになってきたから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	船は揃ったが魚の値段は安い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	不便さは残るが、生活するための経済的な流通は回復を感じることができる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	皆様も落ち着いてきたら温泉に行ったり、服を買ったりで少しずつですがお金を回してと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	港の整備が進み、そのことによって漁業関連が活性化し回復の兆しが見えてきた。それに伴い宿泊や飲食業などにもよい影響を与えてきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	養殖業者の養殖施設は希望通りに復旧はしたが、生産物を加工・出荷等する建屋が建築されておらず、仮設テントでの生産活動の状態である（わかめ生産）。漁港の荷揚げ場所が復旧されておらず、加工場の建設が遅れている。 金融面での国の支援額8/9で養殖施設及び漁船等が復旧しているが、補助金以外（自己負担金11.1%）の負担が大きいので、今後の投資・復旧に向け支障を来している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	養殖漁業施設（若布・アワビ・ホタテ）の復旧は進んでいるが、水揚げは被災前と比較すると回復していない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	養殖施設は被災前と同じく回復はしたが、岸壁等はまだまだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	よく分からない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	わかめの収穫作業を見かけ、地元の塩わかめをいただいた時に少しずつではあるが回復していると感じた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	私の勤めている田老漁協では、先日養殖わかめの収穫が終わりました。収穫量は震災前の8割程度まで回復しました。ただ、まだまだ漁業の再生には時間が掛かると思われます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	3.11東日本大震災後、復興資金で共同作業によって水産養殖業が復旧復興されてきた。昨年より効率性のある独立を図り、わかめ養殖・ホタテ貝養殖の生産がなり、後継者不足の中で浜に活気が蘇った。カキ養殖の着業もなった。水揚げには3年はかかるので、来年には期待されている。定置漁業の着業も進んでいるが、慢性的なサケ不漁で不振状態にある。沿岸漁船漁業の復活が、遅々としている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	新しいスーパーができて、客の出入も多く見られるようになったが、仮設商店街については大きく変化がないように思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	あまちゃん等の影響でここ数ヶ月は多少の回復はあるのかもしれないが、あくまで一過性のものだと思っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	大槌町の土地が高いと言われている。戻りたくても戻れない状態。このようにしているのは、大槌の人です。町は人口流出を防ごうとしているのに足の引っ張り合いをしているようです。自分の儲けのために。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	仮設店舗もだいぶ出揃ったと思います。住宅跡地に多くの車が留まっています。水産業は立ち上がり早く、目の前の海を仕事場とし、毎日家族皆で働いている様子が見られます。私共も何となく元気になりそうです。回復までとはいかないが、働く場所があることは前へ進む道、つまり回復への道を歩いているのだと思います。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	漁業が回復してきているように思える。仮設商店街もできイベント等も行われている。地元独自の商品の開発も進められている。大型店の進出もありで、経済の活性化をどのように進めていくかが課題。

どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	漁業関係は、港に新造船が目につき、整備が進んでいる感じはある。また、大型の製氷機も概ね各漁協でも整備した感はあるが、加工業者の人手不足から再開できない会社があるのか、港から今一つ活気が感じられない。 農林業関係は、基盤整備や金融面の支援が私たちには不透明なので、回復しているか実感が湧かない。ただし、復興事業にベニヤ等の加工ボードの事業所が生産量上げるために、機械を新規に購入したり、24時間フル稼働で操業してる話を聞くと嬉しい反面、多くの木材を伐採していることから、伐採後の山林への手入れに関して、取り組みが必要ではと考えます。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	漁業者が海に戻ってこない様に感じる。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	漁業は上向きになってきたのではないかと思います。復興にかかる事業が落ち着いてくると、そのために雇用された方々の今後の心配です。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	建設業や土木関係は多く仕事もあるようだが、地元の商店にはお客さんがあまり見られない。 農業は津波で浸水した土地も整備してビニールハウスなどを建てて作物を作っている人も見られるようになった。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	ゴールデンウィークでこちらに観光に来る人がたくさんいて一時的に観光収入や仮設店舗での売上げが増えたと思うが、それ以降は仮設商店にあまり人が入らなくなったように思う。仮設商店の商売も大変だと思う。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	事業所の再建はグループ補助金を活用して順調に進んできている。しかし、仮設店舗の事業者が本設に動き出す例は少なく足踏み状態。土地区画整理事業のタイムスケジュールを明確に行政が示さなければ、仮設のまま廃業する事業者が増加すると懸念される。 宿泊施設が慢性的に不足しており、観光を含めた交流人口の増加のチャンスを活かせていない。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	地場産品や郷土食・お土産等については以前程ではないが、頑張ってる盛り返そうとしている人々がいる。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業、並びに関連加工業は少しずつでも回復しているように見受けられますが、仮設店舗等の一般小売業は下降気味です（ボランティア組織の縮小撤退や被災地見学者の減少などにより）町方地域は、ようやく瓦礫撤去も八分通り終わり、これから仮換地のための準備に入ろうとしていますので、新しい町づくり、これからの街並の在り方が問われる期に差し掛ったと思われまます。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	水産業のほとんどは再開しているが、人手不足・取引先の変化により売上高が震災前に回復したところは少ない。このような状況の中で新たな補助金による水産加工団地の計画等もあり、過大投資・過当競争が懸念される。 土地のかさ上げ等により仮設店舗での営業が当面続くと思われる。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	水産業は日ごとに再生に向けて動き出し、それなりの成果が出てきていると思われる。しかし、地域経済全体を見ると厳しいと思っている。金融面や制度面の支援が十分になっていないような気がしている。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	全壊密集地で被災したが、海岸地域は全く整備が進んでいない様に見える。しかし街の方では新しい店舗もでき、部分的には経済の回復が見えるところもあると感じている。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	通勤途中の赤前については変化は見られない。 「花見ガキ」のニュースが流れたのでカキについては戻りつつあるのだろう（うちの義父・義母はカキ養殖をしていたがやめてしまった。）。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸北部	男	問1と同じ。事業所については回復途上にあり、未だに風評被害に苦しんでいる事業所もある。

どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	特に実感なし。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	何らか明らかに変化は感じない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	ニュースを見るに水産業は結構元通りになってきているのではないかと思う。経済に関しては3ヶ月前とは変わらないように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	農業に関しては整地が行われ、来年には回復するのではと思うが、実際に農業を続けていけるのか(後継者等)不安がある。漁業も船などが新しくなるなど徐々にではあるが回復していると思う。地域経済は特に大きな進展は感じない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	被災したホテルが開業できました。よかった。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	人々が定着できる産業・企業をいかに誘致したり復旧したりできるか。長期的な雇用の安定化が図られなければ地域経済の回復は成しえないだろうし、人々が市を離れていくだろう。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	船も復旧して元気が出たように感じます。仮設の店舗は営業している所としていない所があり、厳しい状況は変わらないと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	本設工事があまり見られない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	町の中心部は、大型店もかなり出店してきており、利便性は高まっているように感じますが、仮設への出張・移動販売に頼らざるを得ない人達がいるのも事実！ またそのような世帯の多くは収入が年金だけということを考えてみると、どの程度回復しているかは想像し難い。 被災者に限らず、収入面では土建関係者は休む間もないくらい忙しいと言っており、求人の内容を見ても時給が高めになっているようですが、他の業種については募集しても人が集まらないと言う話はよく聞きます。時給を上げたくても、会社(店)の経営状態にそぐわないのではそうもできないのか？ 逆に、今後公共料金の値上げも控えているので、生活面では不安のほうが大きい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	養殖漁業は回復したように見えますが、廃業をした方もいる様で、また出荷しても値段が以前程でなく、回復が実感できません。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	養殖施設は回復したが、水産加工する作業倉庫がなく生で出荷している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	わかめ・昆布の漁が始まると、震災前と変わらない様に思える。漁業被害はかなりだと思うが、復興支援はそちらばかりのような気がする。震災時に沿岸を通して畑やハウスに行かなくては行けない人々は数日間足止めをくらい、農作物に病気等の被害を受け、出荷をしたくてもトラックが動かず数十万円の損失があったはず。小さな農家は少ない金額の損失でも生活に影響があり、未だに引きずって生きている人もいる。そういう小さな農家にも支援があっても良さそう。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	1. 実施しているが中々進まない。来年作付予定(計画)、早期完成望む。 2. 関連道路(計画にある)が進まない。この事業はいろいろと生活・住居に関係あるので第一に着工すべきと思います。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設店舗の数は増えてきたが、買い物客等が少ない。休業店舗が目につくようになってきた。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設の商店街でも色々イベントを行ったりしているが、集客は1年前と比べて減っているように感じる。また、雇用問題で求人は多いのに、適性な職が見つからず、企業も求人者との間の差が埋まっていないと感じる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	漁業において不漁ぎみの所に燃料の高騰が追い討ちをかけ低迷している。

あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	国や県の雇用事業があるので、中小企業、水産加工所等に人手が足りないのでは～！。一時的な回復があるが長続きしないような気がする。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	経済的にはある一部のスーパーは良いと思うけど、仮設商店は営業はしたけれど厳しいと思う。近くの仮設商店では品数と品揃えが乏しいので、どうしても大きなスーパーやショッピングモールなどに出掛けているようなので、地域経済はそんなに回復しているようには見えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	周囲のことはよくわからないが、自分のことでは、仮設店舗で飲食店をやれていることで、回復していると思う。復興のための人が増えたことで、客は入っているが、この数ヶ月は静かになった。又、賑わってくれるように祈りたい気持ちです。他の方々のことまで気にかける余裕もなく自分の生活で精一杯です。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	小規模の所が多い（水産関係）。再建できていない所が多く、活性化が見られない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸北部	男	震災前から人口減少が続いており、地域経済が回復しているとは感じられない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	水産加工業者は工場も新設し再開している。しかし、従業員不足のため、工場の能力を100%機能させられず困っている様子です。 3ヶ月前と現在では上記の内容は改善されていない様です。 地域全体では前より飲食・ホテル・建設など復興関連業種は非常に活気がある様に感じられる。だが、自営業（商店など）についてはあまり活気が見られない。 浸水地域には建物がなく空地だらけで雑草が生い茂っているのが目立つ。以前の街並みになるには、まだまだ時間が掛かると思う。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	水産加工業の復興が望まれる。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	水産業が回復していくことが、地域の経済回復につながるのだが、まだまだである。 海にはがれきがあるし、水産加工場が復活しないのでパートに出ている主婦たちの働き場所もない。 農業は被災していない土地で行われているので、被災前と今の違いは感じられない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	田老地区の基幹産業である漁業に関しては、養殖及び磯浜漁業にとって欠かせない漁船の導入が進んでいる。小型のサップ船は各組合員にはぼ行き渡ったと聞いている。従って、漁船の共同利用といった不便な状況は改善されたのではないかと思われる。一方、漁業器具や用具など、いわゆる漁具の調達が経済的な理由で遅れている面があり、磯浜漁に出漁できない組合員が少なからずいると聞いている。 また、漁業協同組合は海藻の加工施設や魚網等の倉庫、それに定置網量の乗組員の宿泊施設を再建し、魚市場も地震で沈下した船付場を復旧する工事が進行中である。しかしながら、各施設や設備の復旧・再建のため投じた資金の確保に向け組合員の出資金が増額されたと聞いており、出漁隻数の減少とあいまって漁家の負担増と水揚げの減少がマイナス要素として懸念される。 商業については、人口の大幅な流出による消費者の減少が現実のものとなりつつあり、被災住民の移転先が決まらない中、仮設住宅団地の住民の将来の動向と仮設店舗の賃借期間と本設店舗の立地場所の選定や移転の時期の判断等、これから重要な決断を迫られる局面が相次いで訪れることになる。 観光産業と軽工業は平成24年8月15日の調査時と状況は変わっていない。被災した地域の土地利用については、水産業関連の予想図が示されただけで具体的な計画が見えないのが実情である。

あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	地域経済が回復したとは思いませんが、最近、山の木を切っている所をよく見掛けます。宅地を作るためだと思います。早く、高台移転の土地が確保できればと思います。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	地域経済にしても、かつては、震災復興に沸き立つ感もあったが、政権が変わり経済が上向きに転じたあたりから、住民の感覚にも変化が見られてきた。地元経済の向上よりも、もともと経済発展の向上が見られる地域への流出が顕著になってきた感がする。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	地域経済もここ3ヶ月間はなにも変わっていない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	地域の仮設店の衣料品店に勤務しているが、H24. 4月にオープンしたが、昨年オープン時より今年に入ってからずっと売上げが悪く、とても経済が回復しているように感じられない。食料品を扱う店などは別だと思いますが。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	地域の産業や商店が活発になる前に、大型店が建ち並び、地域の人々の経済があまり伸びていないように感じる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	土地を買いだいたいと思っても、4月から制度が変わり土地を購入ができません。困っているし家も建てられません。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	農家・漁業者等、震災後仕事を離れた人々が復帰するまでは回復とは言えないのでは。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	販路拡大に向け、市町村そして県の支援が更に必要と感じる。大手宿泊業者の進出は、地域経済の回復に繋がるのか疑問だ。3年目に突入し、被災地も企業利益追求の場となっているような気がする。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災前と比較して、地域経済は回復した実感はありません。特に水産業における就業人口の減少が心配です。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	プレハブ商店街は、確かに建設・開店当時は賑わったようだが、今は客がなく商売の継続が困難な様子である。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	マンパワー不足なのだと思う。それぞれの部署では一所懸命やっているのだと思うが横の連系がちぐはぐの時があり、急いでいるはずの事業が進みづらくなったりしている。それぞれは一所懸命なのだが・・・。 部分的な問題点は有るが、物理的に復旧している箇所が少しではあるが増え、そこに働く場として戻って来る人がいるということは良いことなのだと思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	むしろ活気が無くなっている。町内に新規に開店する商店も無く、買い物もショッピングセンターマストに限られ、店内も店数も少なく増える様子もない。隣町の山田町には業務スーパー・衣料店・ホームセンターコメリ等新規出店が相次ぐ。それに比べ大槌は本当に進展がない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸南部	女	目に見える変化がないため。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	山田に関しては、やはりNPOの問題があり、町民の気持ち的な面でこれから町自体どうなるのかという危惧があると感じる。
回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	飲食業は少しずつ復興しているがNPO問題（大雪リバーネット）が解決されていない今、町としての経済の復興は見えず、むしろ後退した感じさえある。学校に勤務する者として、子どもたちの給食もない本町では、弁当の内容も二極化している。母親や父子家庭になってしまった父親は子どもの弁当づくりに悩んでいる。県内で唯一給食のない町・・・。教育には時間がかかり、結果は見えにくい、給食センターの設立も難しくなっているのであれば、県としての支援を望むところである。食と教育は繋がっているのだ。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	海の仕事をやる人が、別の仕事を始めたり、復興以外の仕事が多くなったという話を聞かない。地域には、まだ仮設の商店ばかりであるから。

回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	今日も高台移転を断念したと言われた。地元は離れたくない。息子は地元には仕事がないので帰れない。現在息子が働いている所（他市）に家を構える。水産会社や土木関連会社の求人はあるがきつい割には安い様だ。何かの基準に年収700万とか800万とか国会では騒いでいたが我が田舎では最低賃金が概ねの基準では？遠い所で風が吹いている感じがするのは私だけではない様だ。求人率が上っても生活できない賃金では応募は難しい。地元企業も復興のため状況は厳しい。若い人達が戻って家を建てるのは大変な様だ（物価は都会も田舎もない。）。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	事業所自体が流されたところでは、仮設事務所での操業を行っているが「自力で再建し、使用期限までに「仮設」を出られるか不安だ」と訴える経営者の話を聞いたことがあります。今、仕事が進められているのは支援あってこそ。数年後には支援はなくなるでしょう。そのとき震災以前より大変な状況になっていなければいいのですが。
回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	震災のがれき処理も順調に進み、もう少しで終了するらしい。しかし、そこで働いて生活費を得ている人は改めて仕事を見つけるのが難しく生がみえていない。魚菜市场をみているが、魚の品数や種類もそれ程増えたとは思えない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	問1と同じ。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくり及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	震災前と震災後の防災対策は、広域消防・消防団・住民の連携は変わらず、良い傾向にあると思う。引き続き連携強化に努めていければ良いと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	朝ドラの「あまちゃん」のせいか海岸線の防潮堤・道路等は以前より良くなっています。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害時に対応できる安全な道路の建設が決まった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	堤防が危ない箇所がまだあるが、道路の危険箇所は減ってきている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸北部	男	問1と同じ。次回からは比較・検証のうえご回答できると思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	破損した防潮堤は修復が終わったようですが、それ以上のものは進んでいない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	復興計画が示され、工事が進んできたから。各行政区で避難対策等について、より具体的に取り組むようになってきたから。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の修復が進み、新設予定のものも計画が具体化してきた。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	港・防潮堤の工事は少しずつ進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	宮古港近くの防潮堤のかさ上げなど、終りに近いようなところを見るとやや進んでいると思うし、災害に強い安全性は達成できていると思う。

やや達成した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	私の地元の田老地区はようやく防潮堤のかさ上げの工事を着工した。少しほっとする。これが完成すれば安心して（前より）45号線（国道）を通ることができると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	あまり進んでいるように見えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	沿岸の整備が少しずつですが進んできているように感じます。とくに、三陸鉄道の駅の近辺がそういう感じで進んでいる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	学校前の街灯は変化がない。 法の脇・藤の川の歩道が完成し、生徒は市内方面の学校へは陸側、赤前の学校は海側と分けることができ、安全に登校できるようになった。 ただし、バス通学の不便さは相変わらずであり鉄道の復旧を望みます。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	がれきの撤去が終了して、次の工事として防潮堤の整備が進んできているが、完成までは時間を要する。 町は区画整備を示しているが、今まだ着工に至っていない状況。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	がれき撤去はかなり進んでいるが災害対策としての具体的な取り組みが見えてこない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	がれきは前とくらべて減ってきている。しかし、防潮堤の整備は進んでいないように思われる。通勤で被害を受けた道路を車で走り、ラジオをかけていないと不安になる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	巨大津波に耐えた水門が、次の津波に耐えられるかどうか？ 少しの修繕で大丈夫なように強化されているのだろうか心配。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸北部	男	現状、特に進捗していない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	工事はしているようだが、それが進んでいるのかいないのかが分からない。防潮堤も進んでいないように思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	工事は始まっているけど今すぐ災害が起きた時の対応は不十分な気がする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	生活面・経済面での復旧は進んでいるものの、災害に強い・・・かどうかは実感できないでいる。避難経路を作ったり、などの工夫は見られるが、やはりハード面での整備と共に、住民の意識の高揚が不可欠と感じます。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	前回の調査でも記載した様に、防波堤や道路整備は徐々に進んでいると思うが、最近住宅ローンの固定金利が値上がりした。景気が上向きになっているためとの話がありますが、これから復興住宅を建てる予定の被災者には、何らかの政策が必要だと思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	特に実感なし。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	被災前にはなかった案内表示などが見受けられるようになったが、安心して過ごせるまちづくりが進んでいる実感はできない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤の工事が始まっているが、いつ完成するかがよく分からず、安心して住める状態に早くしてほしい。避難場所の整備も進めて欲しい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事そのものが、目に見える形で進んでいないから。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤の復旧が始まったばかりでまだまだ安全なまちとはいえない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	まだ回復とまではいかないと思うが、防災放送の内容は津波は意識させる内容で良いと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	村での計画は進んでいると思うが、そのことを実感できるところまでは至っていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	目に見えて進んだといえる状態ではないように思う。

どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田漁港周辺は、海岸道路のかさ上げ工事がかなり進み、水産加工施設の建設も見られるようになった。国道45号線宝来橋周辺の工事が急ピッチで進められている。居宅の高台移転のため、近くの山林伐採が見られるようになって来た。しかし、被災住宅地の土台コンクリートが破壊されたままむき出しになっている。がれき未処理が多く、未だ全体的には、復興の速度がおそい。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	1. 一番大切だと思われる堤防がなかなか作られていない。 2. (1)と同じ理由。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	2年経っても防潮堤は全く手がつけられてない。岸壁のかさ上げが進んでいるようだ。海岸通りに街灯もなく、同じような災害があると大変！！
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	4月末、山・原野の地権者の境界線の立ち合いがあり動き始めた感じです。復興には町民の大きな協力も必要と思います。住みたい町作り、今の状態だから思い切ってできると思います。内陸へ転出して行った皆さんも古里に戻ってきたくなる様な町作りを期待し、お任せしたいと思います。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	NPO問題にふりまわされて、他については手が回らずという様に感じる(行政)。土地のかさ上げは手がついておらず、壊れた堤防もほとんどがそのままの状況。河口付近に半端に作られている水門はどうするのか。3.11クラスの津波が再来すれば、現在の仮設住宅も今度は水に浸かるのでは・・・と不安が大きい。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	あいかわらず堤防は壊れたままで、工事に着手していると聞きますが、時間が掛かるようで目に見えて復旧はしていません。急いで弱い堤防が完成するより、ちゃんと時間をかけて強い堤防にしてもらえればと思いますが、歯抜けのような堤防を見るたびに少し恐いです。また、各地でまちづくりの計画が示されましたがまだ実施されてはいないので、3ヶ月前からはあまり進んでいないと思います。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	あまり進展がないように思う。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	いろいろな災害に対する考え方が公表されるようになってきたのはよいことだと思う。しかし、それが具体的な形として少しでも見えてくれば進んでいると言えようが、まだ見えてはこない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	海岸付近の道路、特に夜通る時は怖いです。防波堤等の建設はまだまだですね。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	がれきが整理されただけである。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	現在進行中であり、形として見えていないので実感としてはまだない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	工事は進んでいるのだと思いますが、なかなか目に見えてこないなので実感はありません。そんな中で最近思うことは、県道のかさ上げ(浸水しない程度)が行われてしばらく経ちますが、車道の部分だけに止まっており、歩道や路肩の部分が手付かずのため自転車が車道にはみ出してきて非常に危険です。特に朝の通勤時や、暗くなってから実際に車で走ると実感します。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	国道にかかっている橋に歩道がついたり、舗装等ができてきた。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	最近、大きな地震が起こっても、すぐに避難しない人たちが多く見られる。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	商業・水産業はじめどの業種を見ても、もともと経済の芳しくない地域であったところにあの震災である。災害に強いまちづくりとの目標は素晴らしいが、地域経済の地力がないところ故の悲しさか、遅々として進んでいない感がする。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	震災時を思い起こすと、どの程度の津波が来襲するのかという情報がなかったことが犠牲を増大させた。沖にあった波高計が役立つシステムまたはそれに変わるシステムが防災には必要。

あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	震災前の状態には着実に近づいているとは思いますが、同様の災害が起きたらまた元通りになってしまうのが心配です。特に浸水、津波の被害にあった地域に新しく作られた住居や商業施設・工場などを見ると非常に心配です。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	全国的な地震活動の顕在化が被災地住民の不安を一層高めている。防潮堤・防波堤が完成するまでの期間は津波に対して全く無防備であり、避難経路の整備・避難場所の明示・浸水想定エリア等を広く住民に示して防災意識を高める必要がある。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	ソフト面は進んでいると思うが、ハード面はまだまだ時間がかかると思う。ここ3ヶ月での変化は感じない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	津波堆積物はそのままになっており、それほど変化は感じない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路等の補修は行っているが、防災という点においては不十分だと思う。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	特に海沿いの橋や堤防等の復旧はまだまだのような気がする。護岸工事や港もまだ歳月を要するようだ。校庭にいくつものテトラポットが並べられているが数にしてもまだ少ないだろうし、それを設置する湾岸工事が進んでいない気がする。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	荷揚場かさ上げ作業中です。漁港関連道路壊れた途中、上り坂の部分、すぐ復旧していただけてありがとうございます。防潮堤が工事着手していないため、波が荒れるとき、船曳場に船を置けない状態です。船曳場が完全に舗装されていないため普段船曳に苦労していますので、一日も早く復旧をお願いします。防潮堤もお願いします。浜の方は船ができ上がり、それぞれ震災前と同じように漁を始めている。農業の方は今年から立派に水田を復旧していただいて田植えもしました。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	二線堤と避難道路計画の説明はありましたが、土地の立会いなどはまだなく、具体的部分が見えない。防潮堤も応急修理はしてありますが、復旧・かさ上げ工事等は手付かずです。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸北部	男	復旧・復興にかかる防潮堤工事や土地区画整備事業等それなりに進んでいるが、未だ目に見える形で安心感を得られるところまでは進んでいない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	復興計画は何度か出され、具体化されている面もあるが、他市町村に比較し、スピード感がない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤などの津波対策についてまだ目に見えて表れていない。仮設の防潮堤で対応しているようだ。浸水地域の車道や街路灯などの整備は進んでいる。しかし、歩道には凹凸や亀裂が有り、そこから雑草が生えているため安全面に欠ける所が見られる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤の整備が進まず、このことに最も不安を感じている。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤は手付かずの状態、完成は2～3年後になるとのことで地震の度に心細さを感じる。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤も避難道も整備されていないが避難道を整備する方を優先して欲しい。海からの避難道は1本道であるため、車一台分の幅では緊急の時、狭い様に感じる。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	まちづくりはほとんど進んでおらず、今後数年程度はかかるのではないかと。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	村では防災マップや復興計画が示され、実際に防潮堤工事が進み出すなど最近の動きは目ざましいものです。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	ようやく防潮堤建設の工事が進み始めたのを感じられるようになりましたが、今津波が来たらと考えると、少し怖い気がまだします。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	2年経った今も、窓から見える風景は災害直後と全く変わっていません。折れ曲がったフェンス等そのままです。

達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	新たなハード面の構想は新聞や地域からの情報で知ることができるが、このあと何年かかるのか不安に思える現状がある。
達成していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	安全なまちづくりのために、高台に道路を造ることは地元の悲願です。是非とも地域の住民の意見を聞いて、現実に即した新道路の建設を進めて頂きたい。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	岩手県の作成したシミュレーションにばかり頼り過ぎていて、実際に起こった過去の津波や災害を無視している。シミュレーションを作成した人の責任は重く、次の災害で被害が出た場合万死に値すると思う。決して想定外とは言われたくないです。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	仮の防潮堤は津波が来れば流されそうな物だし、雨がふれば側溝が溢れる状態に未だにある。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	行政の常の業務でそこまで手が回っていない感じがする。防潮堤ができていない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	工事の進捗状況が周知されず、住民は実感として何も変わっていないとの印象が強い。防波堤・防潮堤は整備（復旧）工事すらされていない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	港湾整備が進んでいない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	護岸の一部が完成した。船曳場が急傾斜で使いにくいとのこと。漁民に相談も無かったとか。私も見たが、誰が見ても不自然な気がする。お金をかけて作るのだから前のより良く、安全・安心に。町全体の防災ビジョンを決定して着工してほしい。県、市、国、海岸、道路、住宅。完全とは言えなくても概ねでも良い。バラバラな気がする。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	国道など道路などの修理、歩道などの整備は進んでますが、防潮堤などはまだ壊れたままで手つかずの状態である。近々にまた大きな地震・津波などが来た場合、海に最も近くにある家などとても不安である。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害に強い安全なまちづくりは一向に進んでいません。早く防潮堤の工事が始まり、復旧工事が進むこと、そして、高台の土地造成工事に取りかかることを希望します。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	少しずつ工事も進んでいるのだと思うが、防潮堤等は完成しないと次の大きな津波に対して機能しないので完成するまでは「達成」とは言えないと思う。仮に大潮や津波（中小）で低地が通れない場合の代替路が高台に繋がっていないため移動できない。大型車や人も移動できる県道市道のアクセスを繋いで欲しい（高台）。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	生活・安全性には不可欠。早期着工望みます。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	前回と同様の記事となります。まずは決壊・崩壊した河口堤防・防波堤の修理修復から取り組むべきと思います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	高台造成地の木は伐採され、多少進展はある様に思えるが、防潮堤及び、高台の道路等は未着手に見える。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台団地の一部造成工事が始まったが、残土利用する土地区画事業や防潮堤の土地交渉が進まず、まだまだ安全なまちづくりに程遠いと思われる。

達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	<p>沢山の重機が動き、トラックが行き交っています。晴れている日には土埃がひどい。防波堤はごろごろと倒れたまま、まだまだ時間がかかることを感じます。</p> <p>私事ですが、読んでいただきたいと思います。私の実家は今回の津波により大規模半壊となりました。修復して住んでいますが実家より下には家が1軒もなくなりました。今回都市計画だからとの説明で土地が道路になると言われました。そうなると庭が削られ、車を停めるスペースがなくなります。私の実家の前の道路は十分な広さがあります。すぐ上から急激に狭くなっているのですが、そこは被災してないので手をつけないとのこと。それでは今の状況と何ら変わりはなく、今回の津波同様実家の前で避難して来た車が詰まることは目に見えています。復興のためならば多少の犠牲は仕方ないという考えでしょうか。過酷な環境で頑張っている人に更に追い討ちをかけるようなやり方には納得できません。</p>
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	津波で流された区域の土地のかさ上げはまだ行われず、付近に家を建てている人も多いので心配である。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	時がたつにつれて大災害のことが薄れているように思う。特に防潮堤がないのに津波注意報や警報が出たらまず安全な所に避難することの意識がない。国道45号は満潮時でも海面に近く津波が数十cmでも危ないのに通行しているのはおかしいと思うから、一年前よりもひどいと思う。
達成していない	産業・経済・雇用関連	不明	沿岸南部	女	特に町並みが変わったことがない。津波の被害があった場所に新しい建物が建設されているので、防災は大丈夫なのか疑問になる。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	復興後の町を設計し、町民に広報等で広く知らせる仕事が進んでいる。国道を山側に一部作り直すことや、学校等の主要施設を建設する場所を明記したことで「何かが進んでいる」と町民は思うことができた。しかし、その工事は始まっておらず、まちづくりはまだまだである。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	復興どころか復旧にも至ってない気がする。防潮堤や高台移転等全然進んでいない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	平成24年8月の調査への回答と変わっていない。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	防潮堤（水門）が壊れたまま。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤・県道のかさ上げ等まだ何も始まっていない。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の建設についての計画は市民に示されているものの、本格的な着工に至ってはいないから。また、避難道路などの計画は予算的に実現できるものなのか不安に思うところも多い。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事が開始されておらず、仮の潮留対策はしているが、防災対策は遅れている。また、市街地のかさ上げ工事も始まっていないため、まちづくりの見通しがまだ見えない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の再建が急がれるところだと思います。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	防潮堤の整備はあまり進んでいない。壊れたところもそのまま、波が高い時には恐く感じる時もある。避難方策はいろいろ案はあるようだが、全く整備されていない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤もまだ始まったばかりで安全なまちづくりにはほど遠い状態です。

達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	本当に災害に強いまちづくりを考えているか疑問である。1. 道路の案内板がない。どっちに避難すればよいか分からない。2. 防潮堤の整備に際し、高田松原に12.5mの高さ標示をしているが、そこに行くまでが危険な場所であるし、遠い。もっと市民が行き易くて現在の防潮堤との比較がし易い場所に標示するべきだ。わざと設置時期を遅らせ、わざと不便な場所に設置したようなものだ。 *知事に是非このことを見に来てほしい。知事はできるだけ県民にそして地域住民に納得してもらえるような行政を考えていると思っていると信じている。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	港付近、がれきは撤去されたものの、道路の穴はそのまま、防潮堤も修復されず土のうが積まれたままの状態である。「まちづくり」以前の問題だと思える。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	目に見えた成果は出ていないと感じます。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	私の町の場合、強いまちづくりが達成された実感できるのは防潮堤の完成に尽きると思います。その防潮堤の完成は全く見通しが立っていません。
-	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	何も復興していないので分からない。

【自由意見掲載上の注意】

- ①記載内容については表現も含めて原則として原文のまま掲載しています。
(誤字、脱字は修正をしています。また、企業団体、個人等の名称は置き換えています。)
- ②自由記載については、本人の掲載の了解を取ったものだけを掲載しています。